

会議開催結果

1	会議の名称	砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会
2	開催日時	令和4年2月10日(木)午後1時～
3	開催場所	砥部町役場 議員協議会室
4	審議等事項	(1) 計画の進捗状況について (2) その他
5	出席者名	<p>【委員】 木谷伸治(町内医師会代表) 稲田雅仁(町内歯科医師会代表) 奥田美恵(愛媛県立医療技術大学看護学科講師) 福岡浩之(区長会代表) 的場善行(民生児童委員代表) 村上明子(NPO法人とべ子育て支援団体ぽっかぽか代表) 水口武史(砥部町ふれあい・いきいきサロン連絡協議会会長) 山下吉信(砥部町立小中学校校長会代表) 篠崎春樹(砥部消防署代表)</p> <p>【欠席者】 三木優子(愛媛県中予保健所長) 小河原隆之(砥部町PTA連絡協議会会長) 山本眞理子(砥部町食生活改善推進協議会会長) 佐川啓人(松山南警察署) 向井千春(砥部町栄養教諭代表) 毛利誠子(砥部町養護教諭代表)</p> <p>【事務局】 保険健康課 篠原万喜枝・中山晃志・福見早苗・ 松田志穂・和田彩・光井雅美・宮田 明菜・重松美由紀</p>
6	公開・非公開の別	公開
7	非公開の理由	—
8	傍聴人数	0人
9	所管課	砥部町保険健康課 電話 962-6888

砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会会議録(概要)

発言者	発言内容
事務局	1 開会 2 会長あいさつ
会長	3 議事 (1) 砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画の進捗状況について
会長	砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画の進捗状況について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画の進捗報告について説明します。</p> <p>健康づくり計画の重点目標「こころの健康を守る」の基本目標「こころにゆとりをもつ」について、令和3年度は幼児期からの性教育の講話をファミリーサポート会員に対して1回、広田保育所にて1回実施し、思春期教室は町内全小学校5校で実施しました。今後の事業計画は、保育所等と連携し、幼児期からの性教育を推進していきたいと考えています。</p> <p>基本目標「うつの人を放置しない」について、令和3年度はこころの健康講座を小学校1校で6年生78人対象に実施しました。こころの健康相談は、2か月ごとに開催し3回6人に実施しています。メンタルヘルス研修は、職員に対し1回実施しました。ゲートキーパー養成講座は、介護予防教室で高齢者を対象に2回実施し20人が受講しました。ひきこもり相談窓口は、保健センターを窓口として設置しており、自殺対策強化月間等に合わせて、広報にて周知しています。今後の事業計画ですが、学校、PTA、商工観光課や社会教育課、企業等で連携し、若年層への啓蒙普及に努めていきたい</p>

と考えております。

重点目標「子育てを楽しむ」の基本目標「ゆとりをもって育児する」について、令和3年度の実施状況として、子育て応援ナビに予約システムを導入し、相談や教室の予約体制を整備しました。また、妊婦への健康教室「ほっとママひろば」の充実を図り、コロナ禍のため産院での実施が困難となった沐浴体験を開始しました。さらに、助産師による産前および産後1か月以内の電話連絡や、赤ちゃん訪問等による相談も開始しています。産後ケア事業は2回の利用、子育て支援センター「とべっくら」は延べ947人が利用しました。今後の課題は、産後ケア事業の周知が十分でなく今年度は利用件数が少なかったため、出生の手続き等タイミングをみた周知徹底を図ります。

基本目標「子育て支援の資源を活用する」については、平成28年度から運用している子育て応援ナビのアプリ化を導入しました。「とことこ」という愛称で、乳幼児世帯全体の57%で利用登録されています。また、町の子育てサポートネットワーク「砥部子育て 元気ねっと」に保健センターも参入し、インスタグラムを通して子育て支援の情報提供と活用を行っています。

重点目標「交流・地域活動を推進する」の基本目標「子どもから高齢者まで、繋がりを広げる」において、令和3年度は地域の集まりとして、地区巡回健康教室、サロン、老人クラブの活動がありました。コロナ禍で活動自粛しているところもあります。今後は感染状況を考慮しながら、世代間交流できる地区が増えるよう、介護福祉課や社会福祉協議会等と連携し、集まりの場づくりを推進していきます。

基本目標「地域の次世代リーダーを育成する」について、令和3年度は、健康運動推進リーダー（元気でおり隊）の活動振り返りを実施し、12名の参加がありました。新規参加者の減少や、本来の活動目的の確認・振り返りから活動終了する運びとなりました。なお、今後の事業計画として、会員

へアクティブシニアボランティア養成講座などの運動関連事業を紹介し、事業協力や推進を支援します。

重点目標「体力をつける」の基本目標「運動習慣をつける」について、令和3年度は若年層を対象とした運動啓発記事を広報とべに掲載しました。今後もスポーツ庁考案の運動メニューの情報提供を継続し、各種運動事業は感染予防対策を講じながら実施します。

重点目標「生活習慣を改善する」についての基本目標「禁煙・分煙する」について令和3年度は、妊娠届け出時の禁煙、分煙状況についてアンケート調査を実施しました。その結果、家族の喫煙率は32.4%、うち分煙しているのは88.2%でした。主な喫煙者は父でした。母子保健事業において引き続き禁煙、家庭内分煙について普及啓発を行います。

基本目標「歯の健康を守る」について、乳幼児のむし歯対策として、幼児健診において歯科衛生士によるブラッシング指導の再開、また3歳前の幼児を対象にむし歯予防教室を実施し、母子保健事業において教室対象者へ事業案内チラシを配布し、参加率向上を図ります。

重点目標「生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組む」の基本目標「自分の健康を守る（健診）」ですが、令和3年度、ナッジ理論を応用した特定健診受診勧奨を3回実施しました。また、後期高齢者健診の受診勧奨や、新聞折り込み、電話を活用した勧奨など実施しました。現時点での特定健診受診率は22.9%ですが、最終的には令和2年度を超えると予想しています。今後の計画として、ナッジ理論を応用した受診勧奨を強化することに加え、ICTによる総合健診予約システムの周知や活用を行います。

基本目標の「がんを予防する」です。令和3年度の集団検診予約分からICTによる総合検診予約システムの運用を開始しました。ウェブを活用して予約された人は326人でした。予約全体のおよそ14.8%の方が活用してくださった形です。また、がん検診の未受診者勧奨をクーポン券や封書など

を活用しておこないません。全がん検診の受診率は各種検診によってばらつきがありますが、令和2年度を約2%超えている状況です。今後の計画として町の子育てアプリやLINEなどのSNSを活用し、ICTによる総合検診予約システムの啓発を行い、受診勧奨も行う予定です。

基本目標の「動脈硬化を予防する」については、令和3年度地区巡回健康教室においてオーラルフレイル予防教室を2回実施しました。これは口の機能低下を予防する教室です。また、重症化予防事業の対象者に糖尿病連携手帳を配布し、歯科医院受診時に活用していただき、連携を図りました。また、後期高齢者への重症化予防訪問を20回、健診結果に基づき重症化予防対象者への個別訪問を50回実施しました。今後の計画は、新規事業として動脈硬化予防に関する健康教室を実施します。その中で、歯科医師の講話も盛り込む予定です。他にも、重症化予防に関する歯科医院との連携を引き続き実施していきます。

事務局

続きまして食育推進計画の報告を行います。

重点目標「食は命の源（病気を予防する）」の基本目標「規則的な生活リズムをつくる」や「高齢者の食が豊かになる」の令和3年度の実施状況ですが、今年度は「食の実態調査」を保育所・幼稚園・認定こども園の食嗜好調査に合わせて実施しました。また、広田介護予防教室参加者に対しても実施し、コロナ禍の影響による食生活の変化などの実態把握を行いました。

その結果は、子育て世代も高齢者もコロナ禍の影響による食生活の変化は「なし」と回答した者の割合が6～7割と多かったです。食生活に影響があった人の中には、親子ともにおやつの量や回数が増えた、冷凍・レトルト・インスタント食品の利用頻度が増えた、ファストフードや外食の頻度が減った、という回答がありました。また、子育て世代の健康面の変化は、体重が増えた、精神的にしんどいなどが多かった

です。調査結果はお便りでお返しし、食生活を振り返るヒントや相談先などの紹介を行いました。

この調査結果を受けて、昨年度から始めた「噛む力を育てる教室」などで保育所・幼稚園・認定こども園に出向いた際に、おやつの食べ方や選び方、献立の整え方などを学ぶ機会を設けました。保育所では、ピザ作りやうどん作りなど手作りの給食をとおした食体験の機会を継続しました。次年度も食育ミニ講話や食体験は継続し、コロナ禍で中止になっていた保育所での「お弁当の日」を再開するなど、食育を推進していきます。

高齢者の調査では、比較的たんぱく質を多く含む食材が摂取できている結果でした。しかし実際に介護予防教室の中で、献立カードを使って総たんぱく質量を計算すると、不足している方が多くいました。教室は、積極的に改善案を考え、自分の食事を見直すよい機会となりました。今後、砥部地域でも展開していきたいと思います。また調査の中で、食事に関することで困っていることとして、「作るのが面倒、しんどい」「長時間立っているのがしんどい」「メニューがマンネリ」などのご意見がありました。時短で栄養が摂れるメニューの提供や発信も、本日は欠席されていますが、食生活改善推進協議会のご協力もいただきながら継続していきたいと思います。集まるということが行われにくくなっているため、次年度は訪問での個別栄養相談・栄養指導に力を入れていきたいと考えております。

以上で事務局からの説明を終わります。

会長

事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明について、ご質問・ご意見などございましたらお願いします。

ご意見が出てこないようなので、子育て支援団体ぽっかぽか村上さんに、先ほど、事務局の説明の中で、子育てアプリ「とことこ」を活用し、情報発信や育児相談を申し込むなど住民の利便性を高めることの報告がありました。ぽっかぽか

<p>委員</p>	<p>さんもSNSを活用した相談等行っていると伺いました。工夫点や活動内容など、お願いします。</p> <p>失礼します。すくすく相談にサポートに入らせていただいておりますが、とことこナビは予約する方がその利用をされており、使い方がわからない方はすくすく相談の時に確認をされたりという姿がみられています。今、お母さんたちはなんでもスマホから予約したり情報をみているので、アプリが活用できようになったことはとても便利になったと思います。</p> <p>また、コロナ禍において「砥部子育て 元気ねっと」という会の中で、児童館、子育て支援センター、社協、ぽっかぽか、保健センターでインスタを立ち上げています。やはり、コロナ禍で活動が急に変更になるということが多くなっておりまして、これを立ち上げたことでお母さんたちに情報発信ができるようになったのと、また活動の様子も見ていただくことができるようになったので、興味を持って、また状況を判断して、コロナ禍でも利用されるっていうことにつながっていくかなと思います。お家にいる時間が長くなっているため、来られない人に情報が伝わるシステムがあるということは、よくなってきていると思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いてサロン協議会代表の水口さん、昨年この策定委員会で食事づくりに困っているということを聞きましたが、高齢者の男性の方で一人暮らしの食事は、どのようにしているのか、自分でみなさん作っているのか買うものが多いのか、具体的にどのようなものを食べているのかなど、ご存じでしたら教えていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今コロナ禍で、全然そういった催しや会議がすべてないのです。ですから情報そのものが伝わってこないし、今のテーマについてお答えする材料がないのです。よくなれば今度の</p>

会長	<p>2月24日頭ノ向のサロンをやろうと言っていますが、それまで1回もないんです。そんなことで申し訳ないです。</p> <p>いえ、こればかりは仕方ないですね。私どもも区長会をしてもすごく回数も減ってますし、そういうみんなが集まる会もなく、仕方ないです。ありがとうございました。</p> <p>続きまして「その他」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>自殺対策について報告させていただきます。</p> <p>まず自殺の現状ですが、全国的に自殺者の総数が令和2年のコロナ禍の中約10年ぶりに増加し、令和3年にやや減少しています。50代女性に増加傾向は令和3年も変わらず続いております。また、全国的には若者の自殺が増えている現状です。砥部町においては、自殺に関しては数や傾向などに変化はありません。</p> <p>平成28年に自殺対策基本法が改正され、自殺対策は生きることの包括的な支援と位置付けられ自殺対策計画を策定することが義務付けられました。砥部町では平成30年に計画を作成し、関係機関の皆さまと連携し取り組んでいます。</p> <p>町の取り組みは、啓発活動、相談支援体制の整備、支援者の育成の3つの柱で成り立っています。特に、若者に関しては啓発活動にありますように、町内の小中学校や医療技術大学と連携し思春期教室や、こころの健康講座を開催しています。令和3年度の思春期教室は各小中学校にて実施できましたが、こころの健康講座は小学校1校でしか実施できていない状況で、今後学校と連携し取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>また、砥部町において以前から高齢者の自殺が多いという傾向があり、今年度は介護予防教室においてこころの健康講座を実施しました。民生児童委員協議会においてもご協力をいただき、2月に「ゲートキーパー養成講座」を実施予定でし</p>

	<p>たが、コロナ感染症拡大のため延期という状況です。今後とも、計画に基づき自殺対策に取り組んでいきたいと考えております。以上で事務局からの説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明についてご質問ご意見などございましたらお願いします。</p> <p>ご意見がないようでしたら、消防署副所長の篠崎さん。先ほど事務局の説明の中で、コロナ禍の中自殺が全国的に増加しているという話がありましたが、業務などで砥部町においても未遂者を含めて増加傾向にあるかどうか教えていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>砥部消防署です。自殺というのは、消防署でいうと自損行為という区分に分けられますが、件数自体は横ばい傾向で、決して大幅な増加ということはありません。年齢は 50～60 代が多いと思います。まれに若年層、20～30 代の女性がたまにおられます。こういう人はだいたいうつ病で睡眠薬飲んで自殺を図る傾向があります。50～60 代の方は、病気の悩みや家庭環境、社会環境に対する悩みで自殺を図る傾向が多いように思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。他にご意見ないでしょうか。ないようでしたら、以上を持ちまして本日の会議を閉会します。皆様のご協力により無事策定員会を進めることができました。委員の皆さま方には長時間に渡り、ご審議を賜りありがとうございます。これで砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会を閉会いたします。ありがとうございます。</p>